

多様な「防災力」発信

全国から防災関係の団体や専門家が横浜に集った「ぼうさいこくたい2022」では、県内各地の活動団体などが、これまで培ってきた災害対応の知見を発信した。展示や講演、発表などに工夫を凝らし、多様な視点から、神奈川の防災力をアピールした。

(渡辺渉、井口孝夫) ※本記1面に

ぼうさいこくたい閉幕

「過去と同じような起り方で注意喚起した。地震対策はをすれば」と前置きした上で、国立極地研究所の神沼克伊名教授「平塚市」は強調した。私も皆さん、生きているうちに、関東地震が起こることはないでしよう」

18日、横浜市内港南区のNPO法人「都市防災研究会」が企画した講演会。テーマの中心となった関東地震とは、相模トラフで繰り返すマグニチュード(M)8級の巨大地震のことだ。

その直近の発生である関東大震災から100年が経過。「次」への警戒感が徐々に広まる中、神沼名誉教授は独特の言い回し



原田剛代表(61)は、1995年の阪神大震災では「直接死」の約7割が発生から1時間以内だったことに触れ、「住民の安全確認が大切」と説いた。その際の注意点として「複数で行動し、火災に対応できるように消火器を必ず持つていく」ことを挙げた。

県内の団体、工夫凝らし

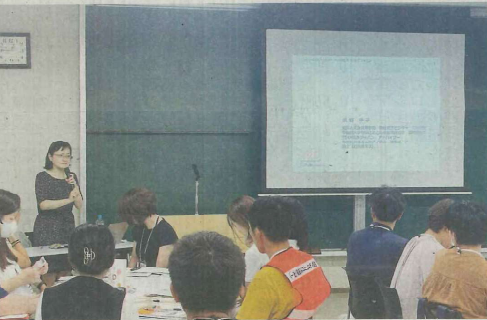
「身近な場所に防災倉庫を設け、近隣の共助が自然に始まる」と利点を説明する一方、建物の被害が大きくなることも踏まえ、震度7の場合は活動が困難になることも念頭に置く必要を唱えた。

認定NPO法人「かながわ311ネットワーク」は他団体と連携し、「よこはまマンション防災ネットワーク」として出展。管理組合などを中心とした対策の必要性を訴えた。NPO法人「さま災害ボランティアネットワーク」は、防災に備えるための「ワーク」は停電に備えるための



●目の考察した「抗震力」の大切さを訴える神沼名誉教授(左)地震発生時に自主防災組織が取るべき行動について発表したQO防災クラブのワークショップ

災害対策に女性視点を 自治体職員ら課題共有



「女性の中の多様性にも目を向け、支援の在り方を官民で協議していくことが必要」と話す浅野幸子さん

18日の「ぼうさいこくたい」では、自治体などで防災や災害支援に関わる女性職員らが悩みや課題を共有するワークショップも開かれた。現場対応に当たる約50人が参加し、女性の視点に立った災害対策の在り方について学びを深めた。

多様な支援につながりにくい」と指摘した。

「多様な女性がいるにもかかわらず、自分の意見が女性を代表する意見として求められるなど、少数派ゆえの悩みのほか、「少人数の場合、子どもを預けられる施設がない」と災害時に働き続けることが難しい」といった切実な声も多く上がった。

参加した小田原市職員の池田早紀さん(32)は「女性をはじめ多様な声を対策に盛り込めるよう、ネットワークを生かしていきたい」と話していた。

(連見 朱加)

特殊詐欺被害額 16.6%増

県警「かばん紛失」に変遷

県警は1~8月に認知した特殊詐欺の統計(暫定値)を、累計被害額が前年同期比約16.6%増約27億2700万円に達したと発表。100万円に達したと発表。

93件だった。件数は3月の21件をピークに減少しつつある。8月は5件だった。「かばんをなくした」と偽って金を取るケースも00万円に達した。

副業する人の実施割合 高・低所得層で大きく

別の企業などで業務を担当する人の割合について、副業をする人の割合は、8月、不審なATM操作に気付いた市民らが阻止するケースが少なくとも10件あり、内容で分析すると、本業

副業をしていない人の38.4%が、本業の勤め先から副業を禁止されている。回答、雇用形態別に見ると、正社員の方が非正社員より



敬老の日に波乗りを披露した最高齢男性サーファーの佐野誠一さん -18日午前、静岡県牧之原市

波乗り 笑顔で「最高」

最高齢の男性サーファーとしてギネス世界記録に認定された大和市の佐野誠一さん(89)が、敬老の日の18日、静岡県牧之原市にある人工波施設で波乗りを披露した。サーフィン開始から10年になるのを記念し、ボードの上で片足を後方に上げる技や180度回転する技にも挑戦。「いい波だった。最高」と笑顔で語った。

大和の最高齢サーファー

80歳で富士山登山に成功した佐野さんは、その数日後、ふと思いついてサーフィンを始めた。23日には90歳の誕生日を迎える。「年を気にする年が寄ってくる。瞬間を楽しむようにしている」と、同世代にエールを送った。

佐野さんは北海道北斗市生まれ。今年には猛暑で挫いていたが、サーフィン開始後、毎月2回程度行ってきたという。

りゅうぐうで「塩」発見 進化解明に期待

熱水に溶けやすい成分に、ナトリウムイオンが非常に多く含まれていることが分かった。一部は有機物と結